

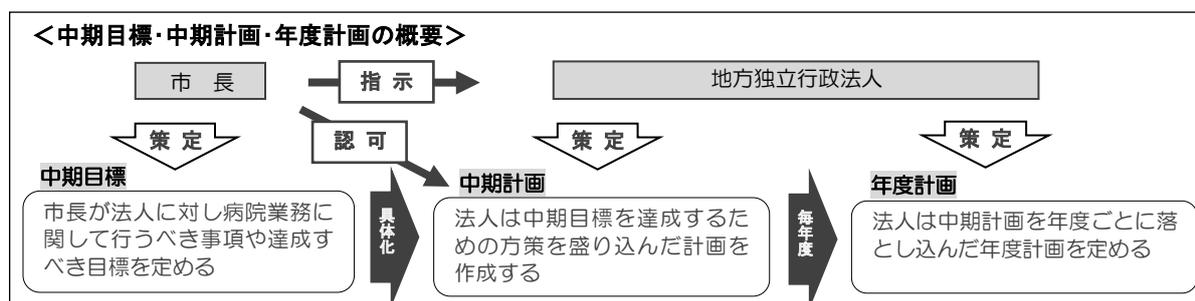
## 報告第15号関連資料

### 地方独立行政法人明石市立市民病院の 経営状況(2022年度事業計画)の報告について

#### 1 2022年度事業計画(年度計画)の位置づけ

地方独立行政法人明石市立市民病院の年度計画は、市が示した中期目標の達成に向けて市民病院が作成した中期計画に掲げた方策のうち、各年度に実施する事項を定めたものです。

今年度は、第3期中期目標・中期計画期間(2019.4.1～2023.3.31)の最終年度にあたります。



#### 2 概要

2021年度は、2020年度に引き続き新型コロナウイルス感染症が蔓延する状況下において、市民病院は地域医療の拠点病院としての役割を果たすとともに、市や関係機関との緊密な連携のもと感染症対策にあたりながら、計画に掲げた目標の実現に向けて取組みを進めてきました。

第3期中期目標期間の最終年度となる2022年度は、依然として新型コロナウイルス感染症による影響が懸念される中、引き続き市と連携を図りながら公立病院としての責務を果たすとともに、ポストコロナの医療体制を見据え、地域医療の中核を担う病院として地域から信頼されるより安全で質の高い医療を提供するための取組みを進めていきます。

#### 3 主な取組

- (1) コロナ診療を含む急性期医療を中心に回復期機能にも軸足を置いた、疾患や病状に応じた総合的医療の提供および救急医療の推進
- (2) 新型コロナウイルス感染症対応における経験やネットワークを活かした新興感染症医療の拠点としての機動的な対応
- (3) 地域包括ケア病棟および回復期リハビリテーション病棟における、病状や地域の実情を考慮した受け入れ体制整備などによる地域包括ケアシステムの推進
- (4) 入退院支援の継続および外来受診のサポートの充実による利用者本位の医療サービスの提供
- (5) 中長期的な病院のあり方を見据えた病院機能構想の実現に向けた取組み

#### 4 2022年度事業計画（年度計画）の概要

##### (1) 収支計画

(単位：百万円)

項目	2020年度 実績額*1	2021年度 実績額（見込）	2022年度 予算額	2022年度 中期計画予算額*2
営業収益	9,322	9,600	8,905	9,052
医業収益	6,913	7,540	7,996	8,099
営業費用	8,259	8,604	8,624	8,509
医業費用	8,001	8,376	8,368	8,268
うち給与費	4,704	4,847	4,840	4,522
うち材料費	1,648	1,677	1,799	2,047
一般管理費	258	228	256	224
純利益	743	826	14	265

※1 2020年度(令和2年度)財務諸表等より抜粋

※2 第3期中期計画の参考資料より抜粋

##### (2) 主な数値目標

項目		2020年度 実績値	2021年度 実績値（見込）	2022年度 目標値	2022年度 中期計画目標値
職員	常勤医師数	61人	64人	65人	65人
	看護師数	282人	284人	290人	290人
救急	救急車による搬入患者数	2,388人	2,704人	3,400人	3,800人
	救急車お断り率	22.9%	25.5%	18.0%	18.0%
地域連携	紹介率	73.3%	75.7%	79.0%	79.0%
	逆紹介率	68.6%	69.9%	85.0%	84.0%
	訪問看護ステーション訪問回数	413回/月	422回/月	425回/月	250回/月
入院	一日平均入院患者数	238.0人	240.7人	272.1人	281.2人
	新入院患者数	6,061人	6,176人	7,200人	7,673人
	入院診療単価（一般病棟）	63,816円	72,313円	64,142円	63,000円
	入院診療単価 （回復期リハビリテーション病棟）	31,924円	33,389円	32,250円	32,000円
	急性期機能病棟稼働率	70.9%	72.3%	82.6%	84.5%
	地域包括ケア病棟稼働率	76.3%	74.8%	80.0%	81.0%
	回復期リハビリテーション病棟稼働率	82.7%	82.5%	93.3%	90.0%
外来	一日平均外来患者数	476.1人	500.7人	540.2人	550.0人
	外来診療単価	16,882円	16,659円	17,179円	17,000円
財務諸表	材料費対医業収益比率	23.8%	22.2%	22.5%	25.3%
	経費対医業収益比率	17.7%	17.3%	14.8%	14.1%
	人件費対医業収益比率	71.3%	67.1%	63.3%	58.0%
	経常収支比率	108.6%	109.2%	100.2%	103.0%
	医業収支比率	86.4%	90.0%	95.6%	97.8%
	資金期末残高	2,425百万円	3,446百万円	3,589百万円	2,921百万円

## <用語解説>

### 回復期リハビリテーション病棟

脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の身体的障害を持つ患者や機能低下が見受けられる患者に対して、ADL（Activities of Daily Living：日常生活を送るために最低限必要な日常的な動作）の向上による寝たきりの防止と家庭復帰を目的としたリハビリテーションを集中的に行うための病棟。

<急性期> 病気を発症し症状が比較的激しい時期。状態の早期安定化に向けた医療を提供する。

<回復期> 急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリを提供する。

### 紹介率・逆紹介率

紹介率とは、初診患者のうち、他の医療機関からの紹介状をもって受診された患者の割合を示す指標。また、逆紹介率とは、初診患者のうち、他の医療機関に紹介した患者の割合を示す指標。

初期診療や慢性の継続診療などは「かかりつけ医」を受診し、専門的な検査や診察、入院が必要な治療と判断された場合に紹介状持参で病院を受診する、そして、治療を終え症状が落ち着いたら「かかりつけ医」へ紹介し、治療を継続または経過を観察する、これを地域全体として行うことで、地域の医療連携が強化される。

### 地域包括ケア病棟

急性期の治療が終了し病状が安定したもの、すぐに自宅や施設での療養に移行するには不安のある患者さんに対してしばらくの間、入院療養を継続し、在宅復帰に向けての準備を行う（ポストアキュート）ほか、在宅や介護施設にいる患者の急性増悪時に入院医療の提供を行う（サブアキュート）ことを目的とした病棟。

在宅復帰支援の計画に基づき、主治医をはじめ看護師、リハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー（MSW）等が協力し、在宅復帰に向けてのサポートを行う。

### 訪問看護ステーション

病気や障害を持った人が住み慣れた地域で、その人らしく療養生活を送れるように、看護師等が生活の場へ訪問し、医師の指示書のもとに看護ケアを提供し、自立した生活を送れるよう支援するサービスを行う事業所。

### (財務指標関連)

**医業収支比率** 病院の本業である医業活動から生じる医業費用に対する医業収益の割合を示す指標。

**経常収支比率** 医業費用、医業外費用に対する医業収益、医業外収益の割合を表し、通常の病院活動による収益状況を示す指標。

**経費対医業収益比率** 医業収益のなかで委託費や光熱水費などの経費が占める割合を示す指標。

**材料費対医業収益比率** 医業収益のなかで材料費が占める割合を示す指標。

**資金期末残高** 現金及び預金の期末時点における残高。

**人件費対医業収益比率** 医業収益のなかで人件費（職員給与費）が占める割合を示す指標。